

Title	建設業における研究開発方針に関する経営戦略的考察
Sub Title	
Author	山本 亘(Yamamoto, Wataru) 小野 桂之介
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1988
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1988年度経営学 第654号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001988-0654

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名 山 本 亘 主査 小 野 桂之介
(清水建設株式会社) 副査 古 川 公 成
所属ゼミナール 小 野 桂之介 研 青 井 倫 一

建設業における研究開発方針に関する経営戦略的考察

本研究は、日本の建設業を対象として、これまでの研究開発方針の変化を研究開発成果の特徴および経営戦略との関連性を中心に分析し、この分析結果と同産業を取り巻く環境条件の予測をもとに、わが国の大手総合建設業がその経営戦略の一環として、今後どのような研究開発方針を選択してゆくべきなのかを考察した。

これまでの研究開発成果の特徴を把握するために、業界専門紙に発表された研究開発関連記事の内容を分析した結果、高度成長期から現在までを4つの時代に区分し、各時代における大手総合建設業の経営戦略および研究開発方針の関連性とその変化の過程を説明することができた。

また、この結果と環境条件の予測をもとに今後の経営戦略を考察すると、その代替案として、①開発事業への対応 ②国際的競争力の強化 ③高機能施設での技術的競争力の強化 ④建設生産の効率化 ⑤関連企業群の形成、が考えられる。

さらに、これらの経営戦略における技術ニーズを考慮すると、今後ますます研究開発活動の重要性は高まると考えられ、具体的な研究開発方針の代替案としては、①高度な機能を有する施設・設備への対応 ②建設生産技術力の強化 ③共同研究開発の促進 ④調査・研究開発管理機能の充実、があげられる。